
第45期 決算説明資料

“FUKUI COMPUTER GROUP” FY2023

売上高

13,821百万円
YoY Growth + 1.4%

営業利益

5,585百万円
YoY Growth + 0.04%

ARR

7,126百万円
YoY Growth + 5.8%

ARPA

19.3万円
YoY Growth — % ※

継続取引企業社数

33,018社
YoY Growth +1.6%

Churn Rate

5.2%
FY2022 4.9%

(単位:百万円)

	FY2023	FY2022	増減率
売上高	13,821	13,630	+1.4%
営業利益	5,585	5,583	+0.0%
経常利益	5,676	5,643	+0.6%
四半期純利益	3,817	3,809	+0.2%
ROS	40.4%	41.0%	

FY2023 (通期予想)	予算比
13,883	99.6%
5,340	104.6%
5,380	105.5%
3,541	107.8%
38.5%	

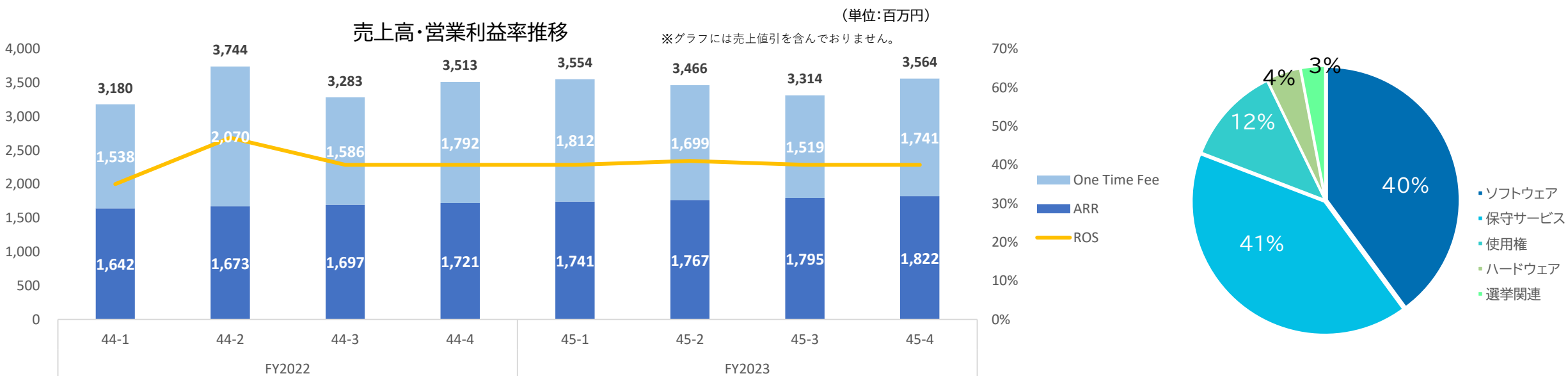
✓ 売上高は前年同期比1.4%の増加となりました。

ストックビジネスが着実に成長し、前年同期比増収増益となりました。

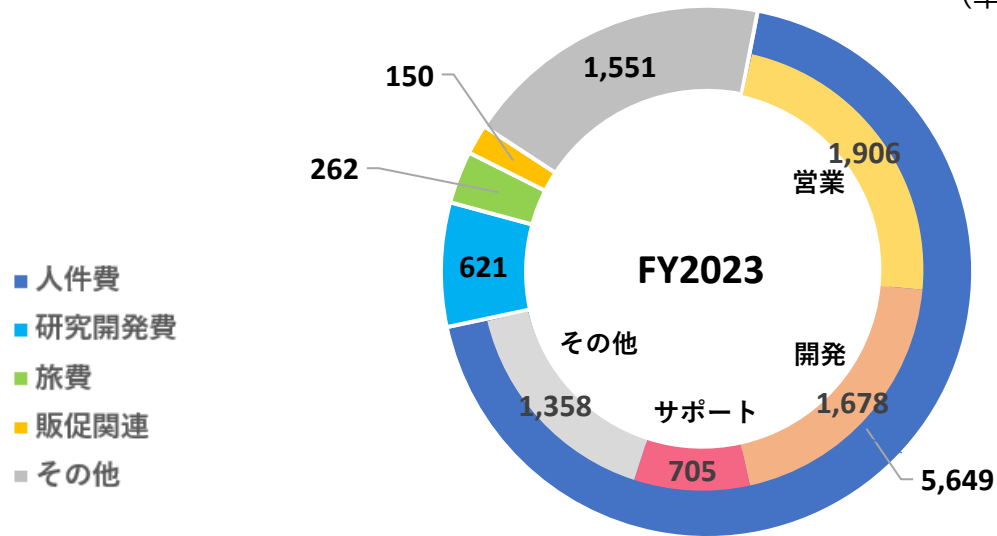
四半期ごとの推移

(単位:百万円)

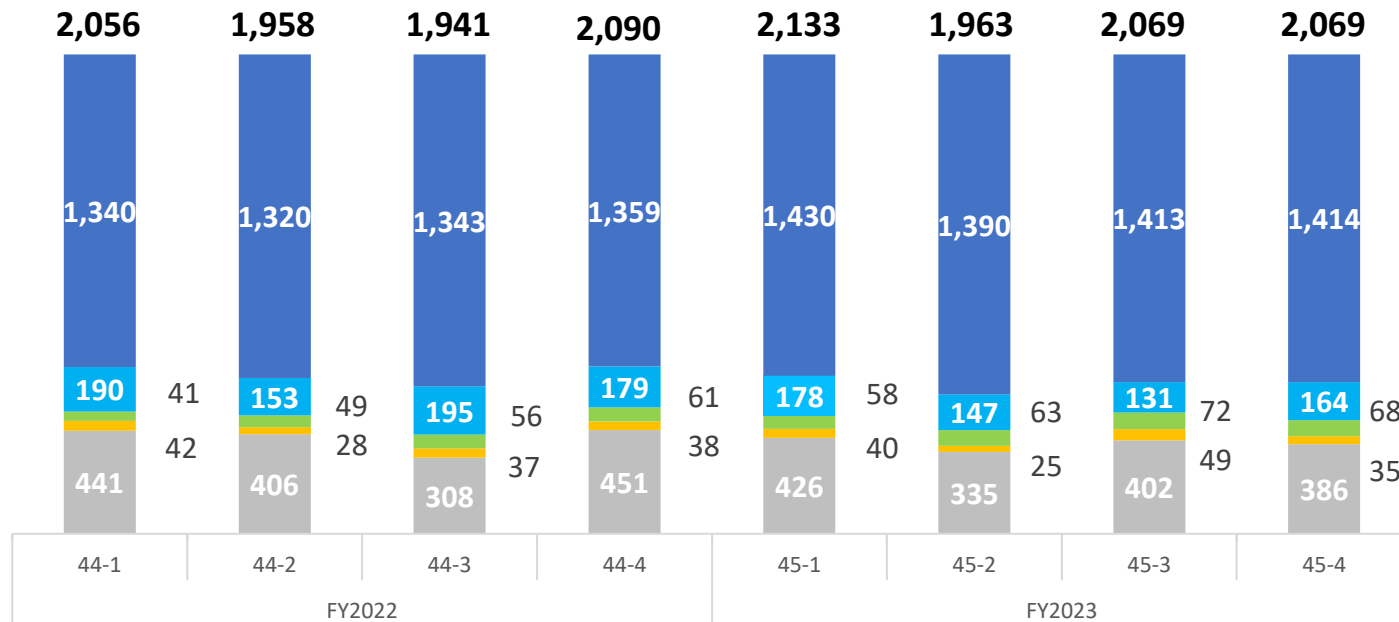
	FY2022 実績					FY2023 実績					前年同期比 累計YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	3,165	3,725	3,253	3,485	13,630	3,537	3,450	3,289	3,542	13,821	+ 1.4%
└ ARR	1,642	1,673	1,697	1,721	6,735	1,741	1,767	1,795	1,822	7,126	+ 5.8%
営業利益	1,108	1,767	1,311	1,395	5,583	1,403	1,487	1,220	1,473	5,585	+ 0.0%
経常利益	1,126	1,786	1,322	1,407	5,643	1,429	1,511	1,239	1,496	5,676	+ 0.6%
四半期純利益	759	1,200	908	940	3,809	968	1,006	839	1,003	3,817	+ 0.2%



(単位:百万円)



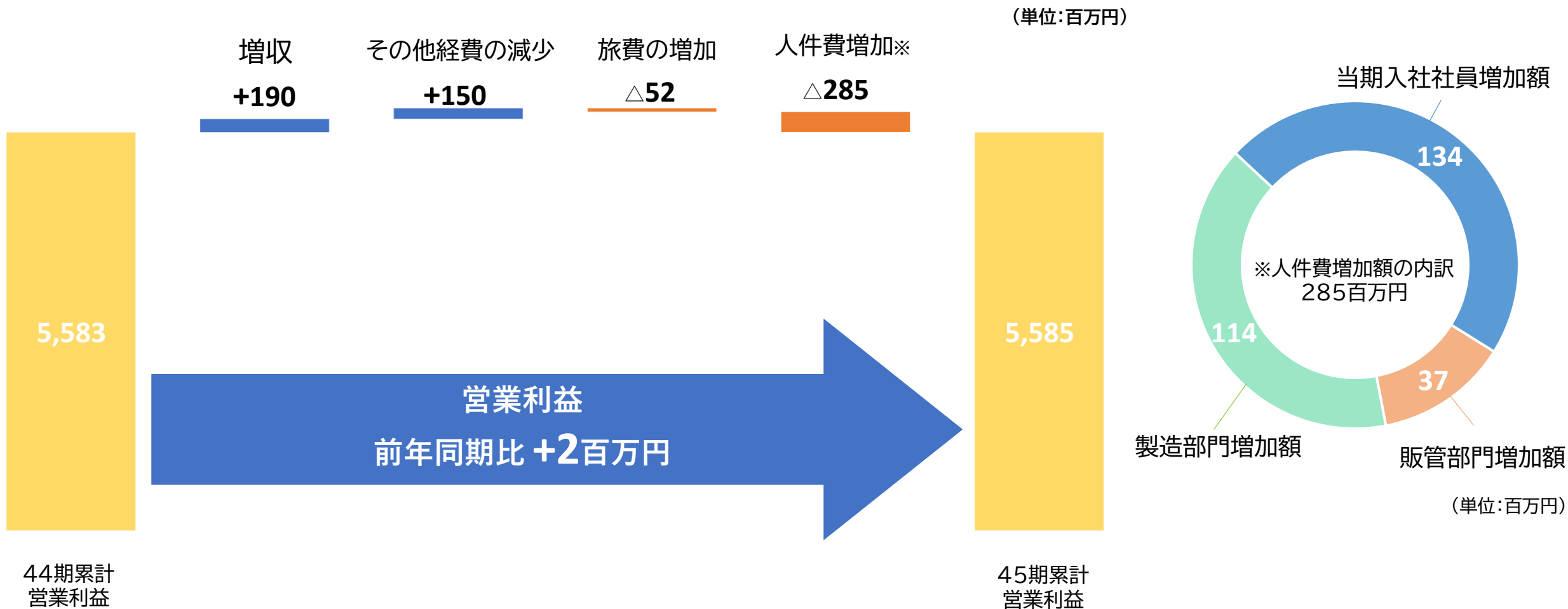
(単位:百万円)



- ✔ 人件費が約7割を占めております。社員が安心して長く働ける環境づくりを目指し、建設業全体の生産性向上に寄与する製品の提供に努めてまいります。
- ✔ 2023年4月に賃金制度を見直し、月収ベースで5%強の賃上げを実施しております。また、新入社員等の人員増加もあり、人件費が285百万円増加しております。
- ✔ 「その他」の主な内容は地代家賃・賃借料、商品売上原価、減価償却費、ロイヤリティ等です。

営業利益の増減分析

人件費が増加するも、売上の増加、その他経費の減少により営業利益は前年同期比+2百万円



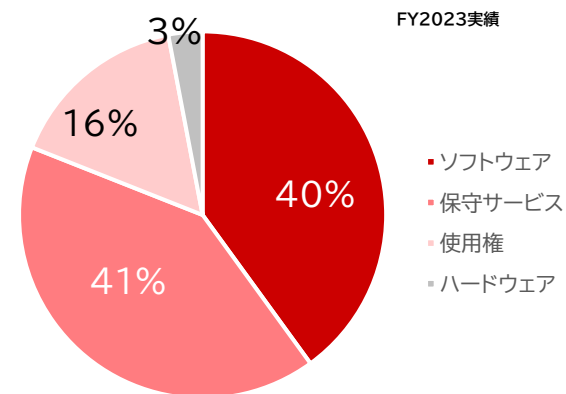
建築システム事業

- ・ 保守サービス及び3Dカタログサイトの継続取引企業社数が堅調に推移し、ストックビジネスは伸長
- ・ 住宅事業ではリノベーション需要の高まりや建築基準法改正を機会とした製品への追加オプション提案により売上が増加
- ・ BIM事業においては、生産性向上を目的とした施工BIMの強化を図ったことにより売上が増加

■ 四半期ごとの業績推移

(単位:百万円)

	FY2022 実績					FY2023 実績					前年同期比 累計YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	1,422	1,561	1,543	1,561	6,089	1,480	1,615	1,650	1,708	6,454	+6.0%
└ARR	829	842	854	862	3,389	901	911	926	934	3,673	+8.4%
└保守	642	649	655	658	2,606	662	666	672	674	2,674	+2.6%
└使用権	187	193	198	204	783	239	245	253	260	998	+27.5%
営業利益	467	568	531	501	2,068	403	546	545	626	2,121	+2.6%



Churn Rate

6.1%

FY2022-4Q 5.7%

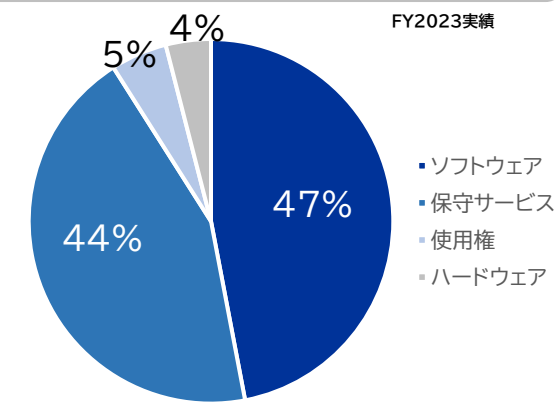
測量土木システム事業

- ・ 2023年4月より、国土交通省直轄の業務・工事でBIM/CIMの原則適用が始まり、点群処理ソフト やBIM/CIMコミュニケーションシステムを
主な製品とする建設インフラ事業の継続取引社数が増加
- ・ 測量事業・土木事業においては保守サービスや使用権売上であるストックビジネスの着実な成長により売上が増加
- ・ 大型展示会への出展等、さらに営業活動を活発化したことにより旅費・展示会費等が増加し前年同期比減収減益

■ 四半期ごとの業績推移

(単位:百万円)

	FY2022 実績					FY2023 実績					前年同期比 累計YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	1,698	1,812	1,669	1,863	7,044	1,806	1,802	1,610	1,794	7,014	△0.4%
└ARR	786	803	816	830	3,236	839	855	869	888	3,452	+6.7%
└保守	728	740	748	759	2976	765	772	781	793	3,113	+4.6%
└使用権	57	63	67	70	260	74	82	87	94	339	+30.5%
営業利益	774	927	760	877	3,338	844	900	677	880	3,302	△1.1%



Churn Rate

4.5%

FY2022-4Q 4.3%

ITソリューション事業

- ・ FY2022は、2022年7月に行われた参議院選挙の出口調査システムにかかわる大口の売上を計上
FY2023は、2023年4月に行われた統一地方選挙の出口調査システムにかかわる売上を計上
統一地方選挙は参議院選挙に比べ規模が小規模であるため、減収減益

■四半期ごとの業績推移

(単位:百万円)

	FY2022 実績					FY2023 実績					前年同期 比累計 YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
売上高	44	351	41	61	497	251	32	28	39	352	△ 29.2%
営業利益	△ 25	252	△ 18	△ 18	189	175	△ 10	△ 8	△ 12	145	△ 23.3%

サブセグメント情報

(単位:百万円)

	FY2022 実績					FY2023 実績					前年同期 比累計 YoY
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	
住宅事業	1,096	1,196	1,172	1,178	4,642	1,095	1,195	1,231	1,260	4,781	+ 3.0%
建材事業	154	159	160	171	644	184	200	200	207	791	+ 22.8%
BIM事業	127	145	162	154	588	144	172	187	199	702	+ 19.4%
その他	45	62	49	60	216	57	48	33	43	181	△ 16.2%
建築システム事業一計	1,422	1,561	1,543	1,561	6,089	1,480	1,615	1,650	1,708	6,454	+6.0%
測量事業	745	761	714	806	3,026	777	728	674	716	2,895	△ 4.3%
土木事業	389	362	358	371	1,480	374	369	384	373	1,500	+ 1.4%
建設インフラ事業	508	628	549	645	2,330	609	657	512	671	2,449	+ 5.1%
その他	56	61	49	42	208	46	48	41	35	170	△ 18.3%
測量土木システム事業一計	1,698	1,812	1,669	1,863	7,044	1,806	1,802	1,610	1,794	7,014	△ 0.4%
ITソリューション事業	44	351	41	61	497	251	32	28	39	352	△ 29.2%
合計	3,165	3,725	3,253	3,485	13,630	3,537	3,450	3,289	3,542	13,821	+1.4%

投資事業

2023年6月に当該子会社を通じてIFAC投資事業有限責任組合を設立し投資活動を実施しております。
主な投資対象は、当社グループの事業領域と関連性の高い優れたサービスやビジネスモデルを持つスタートアップやベンチャー企業としております。
今期CVCファンドを通じた出資として3社、VCファンドへの出資を1社実施いたしました。

CVCファンドを通じた出資



フォトラクション社が強みを持つ大手層を中心とした顧客基盤および施工管理をはじめとしたクラウドソリューションと、当社グループが強みをもつ中堅・中小を中心とした顧客基盤と建築における上流工程にかかわるソリューションを共有しながら、建築業界の課題をいち早く捉えつつ、効果的なソリューションをお届けできるよう共同開発に取り組んでまいります。



エピソード社が強みを持つ現場支援向けのAR技術と当社グループが強みを持つ調査・設計を中心としたソリューションとの連携及び共同開発など、幅広い領域において協業を検討いたします。加えて、当社子会社の福井コンピュータスマート株式会社では、エピソード社と「Dive」の販売店契約を締結し、双方の製品拡販につなげてまいります。



今回の出資を通して双方のシステム連携を進め、3D点群データの生成から編集・活用までのワンストップサービスを実現することで、建設DX及びi-Constructionの推進に取り組んでまいります。加えて、当社子会社の福井コンピュータスマート株式会社では、スカイマティクス社と「くみき」の販売店契約を締結し、双方の製品拡販につなげてまいります。

VCファンドへのLP出資



「日本を不動産・まちづくりの分野において世界の中心地にする」というビジョンを掲げ、北米を中心とした世界各国の不動産テック領域に特化した投資を行うベンチャー・キャピタル（VC）ファンドです。

FY2024 通期業績予想

(単位:百万円)

	FY2023 (当期)	FY2024 (来期予想)	前年同期比
売上高	13,821	13,837	+0.1%
営業利益	5,585	5,390	△3.5%
経常利益	5,676	5,430	△4.3%
当期純利益	3,817	3,572	△6.4%
1株当たり当期純利益	184円63銭	172円77銭	
1株当たり配当金	65円	70円	

業績予想

売上高13,837百万円、営業利益5,390百万円、経常利益5,430百万円、当期純利益3,572百万円を見込んでおります。

建築システム事業

住宅事業における主要ソフトウェアの機能拡充、またBIM事業における施工フェーズへのソリューション提供により売上増加を図りながらストックビジネスの拡大にも取り組んでまいります。

測量土木システム事業

国土交通省が推進する「i-Construction 2.0」やBIM/CIM原則適用を成長のチャンスととらえ、測量事業および土木事業における建設業の生産性向上に寄与する新しいソリューションの開発や、既存ソフトウェアの機能改善・深堀により、継続取引社数の拡大に向け取り組んでまいります。

弊社集計基準は下記の通りです。

継続取引企業社数	前期3月末より継続して取引のある企業社数(2024/3月末時点)
ARR	ストック売上(使用権、保守サービス売上)における年間定期収益
ARPA	ARRを3月末時点の契約企業社数で割り返し算出
Churn Rate	ストック売上における継続企業社数で算出
One Time Fee	一時点で収益を認識する売上
ROS	営業利益率

注釈

※ARPAの前期比較(YoY)において、前年と集計方法を変更しているため記載しておりません。
 なお、前期集計方法の場合、当期の”ARPA”は、20.4万円(YoY+3.7%)となります。